

一般社団法人ラテンアメリカ協会

2023年度定時会員総会

資料



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 120A(1階)



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

第11回定時会員総会 次第

日時 2023年 6月28日(水)15:00～16:30

場所 三菱商事株式会社 会議室

東京都千代田区丸の内二丁目 2番 1号

1. 開 会

2. 審議事項

- 第 1 号議案 2022年度事業報告書の件……【報告事項】
- 第 2 号議案 2022年度決算書類承認の件……【決議事項】
- 第 3 号議案 2023年度事業計画の件……【報告事項】
- 第 4 号議案 2023年度収支予算の件……【報告事項】
- 第 5 号議案 理事選任の件 …………… 【決議事項】

3. その他

4. 閉会

一般社団法人ラテンアメリカ協会2023度 定時会員総会 議案説明書

<p>第1号議案</p> <p>2022年度 事業報告書</p> <p>【報告事項】</p>	<p><u>定款の規定に基づき、「2022年度事業報告書」は理事会で承認済。</u></p> <p>2022年度末会員数は、期首比、個人22名増、法人3社増、他（在外会員・学生・大使館・図書館）13増の計 38増、396名・団体（個人249名、法人77社、他）となった。主たる事業活動である講演会・セミナーは、新型コロナ禍の影響で年度を通して全てZOOMによるリモート形式で開催した。講演会24件（参加者1,437名、2回の共催除く）、ラテンアメリカ・カリブ研究所の大来記念政策フォーラム5件（特別例会1回含む）（参加者138名）、IADの共催セミナー1件（非公開ラウンドテーブル1回：参加者31名、公開セミナー1回：参加者239名）を開催した。季刊誌「時報」は予定通り四半期毎の発行を継続した。</p>
<p>第2号議案</p> <p>2022年度 決算書類承認</p> <p>【決議事項】</p>	<p>< 予算比：収支計算書より ></p> <p>収入について、予算1,320.5万円に対し決算は1,357.6万円。会員費は予算比6.4万円減、講演会・セミナー収入が2022年下期より対面で可能と予測したが全てリモート方式となったことに伴い講演会収入減約47万円となったものの、IAD共催セミナー関連の収入が対象となる雑収入増が約90万円となり、収入合計では予算比約37万円の増となった。</p> <p>支出の内、事業費について2022年度予算751万円に対し決算は717万円の34万円減で、IAD共催セミナー関連で想定し、実現しなかった米国への出張旅費50万円が太宗を占めた（他に印刷費38万円減、謝礼金・雑費支出53万円増）。</p> <p>管理費について予算647万円、決算は601万円で、支出46万円減の主要因は、旅費・交通費支出が約30万円減、他に謝金約9万円増、理事費・借室光熱費・備品・雑費の支出合計が約21万円減となっている。</p> <p>この結果、収支差額合計は予算の77万円の赤字から約40万円の黒字となった。</p>
<p>第3号議案</p> <p>2023年度 事業計画</p> <p>【報告事項】</p>	<p><u>定款の規定に基づき、「2023年度事業計画」は理事会で承認済。</u></p> <p>4年前の「2019年度事業計画」で承認された当協会の3コア事業、即ち</p> <ol style="list-style-type: none">①ラテンアメリカ情報の集積・発信（Information）②ラテンアメリカ情勢等の研究・提言（Think Tank）③出会いと交流の場の提供（Networking）の充実強化の実施5年目。 <p>2022年度半ばから導入した次の5つのワーキング・グループ（WG）での検討をベースに常務理事会での協議を経て事業の推進を図って来たが、2023年度は同体制で活動の一層の充実を図り、理事会・会員総会の趣意を実現する方針。</p> <ol style="list-style-type: none">①渉外・ネットワーク拡大WG②Webサイト充実・改善WG

	<p>③講演会・セミナー等イベント企画WG ④「ラテンアメリカ時報」編集・企画WG ⑤ラテンアメリカ・カリブ研究所WG</p> <p>また、協会活動発展に対応した財務面や体制面の強化について長期的視野に立って検討を進める。</p>
<p>第 4 号議案</p> <p>2023年度 収支予算</p> <p>【報告事項】</p>	<p>定款の規定に基づき、「2023年度収支予算」は理事会で承認済。</p> <p><2022年度予算/実績比：収支予算書></p> <p>事業活動収入の内「会費」の前提は2022年度予算/実績と略同額と想定。「講演会・セミナー」は全てリモート方式を想定し収入は前年度実績比やや増の10万円、「フォーラム」は協賛会社数減により10万円減、それ以外の「時報」直売、「広告」など他収入は前年度予算/実績並みを想定。但し、IAD共催セミナー収入については2022年度決算143万円に対し予算130万円と予想。フォーラム収入（協賛金）の増額、IAD共催セミナー収入の確保は協会努力を課題とする。</p> <p>事業活動支出では前年度予算比39万円減/決算比5万円減とした。内訳として「謝金」は前年度予算比同額、「印刷費」は実績を反映し前年度予算比20万円減の200万円、「通信費」は前年度予算/実績並み、一方、「旅費・交通費」ではIAD共催セミナー関連の費用は発生しないと想定（発生する場合IAD共催セミナー収入増を図る前提）。「雑費」支出は前年度決算並みと予想。</p> <p>管理費支出の内、「謝金」は時給アップを反映した。「理事費」は昨年度予算同様10万円、「旅費・交通費」以下の各項目は前年度予算と同額とした。</p> <p>以上より、収支差額が67万円の赤字となる予算案（前年度予算は77万円の赤字）となっている。</p> <p>コロナ対策の緩和に伴い、対面での講演会・会議などが可能となる場合、その費用が増大することが予想され、その際は当該費用上昇分に見合う収入確保を図るべく努力することが前提となる予算となっている。</p>
<p>第 5 号議案</p> <p>理事・監事選任</p> <p>【決議事項】</p>	<p>別紙の通り（退任理事 2名に伴い）、新任理事 2 名を推挙いたします。</p>

第 1 号議案

2023年6月28日
一般社団法人ラテンアメリカ協会

第 1 号議案：2022 年度事業報告書

1. 2022 年実績概況（4 月～3 月）

(1) 会員数

- 今年度期首の 358 団体・個人（法人 74 社、個人 227 名、他）に対し、期末では 396 団体・個人（法人 77 社、個人 249 名、他）、38 増（法人 4 増 1 減、スタートアップ 1 増、個人 22 名増、在外会員 9 名増、大使館 1 減、学生 4 名増）。

(2) 活動（詳細は第 4 項「事業活動」にて報告）

- 講演会・セミナー開催:24 回（共催 2 回除く）・累計 1,437 名（共催除く）<60 名/回>（前年度 16 回【共催 1 回除く】・累計 985 名<62 名/回>）
- 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム 開催：5 回（特別例会 1 回含む）・累計 138 名（前年 4 回、143 名）
- 米国インターアメリカン・ダイアログとの共催セミナー開催：10 月 19 日 Private Meeting 31 名、10 月 26 日 Public Meeting 239 名
- 季刊誌「ラテンアメリカ時報」：4 回（春・夏・秋・冬：各 650 部）
- WEB 情報発信（HP・メルマガ・Facebook）：HP トップページへの改編（「講演会・セミナーのご案内」、「新着情報・協会からのお知らせ」、「関連情報・その他のお知らせ」）、HP メニューバーの改編（パンフレット廃止に伴う HP「協会案内」での表示、資料とニュースを集約して掲載：「各種資料」「ニュース」他）、HP「時報」の掲載箇所に「特集」各記事のサンプルを表示し Google などの検索にヒットしやすくした。
英文 HP の改編（メニューバー「About」に「AJALAC Introduction」として活動概要を掲載、「News」に年 2 回の「JALAC Activities Report」を掲載）
- 昨年からの「ラテンアメリカなるほどトーク」（非会員の参加費無料）の講演会を継続（非会員の集客に貢献）。

2. 組織活動

(1) 2022 年度 定時会員総会

2022 年 6 月 21 日（火） 正会員数 323 名

出席 4 名（理事 4）、委任 164、議決権行使 13；計 181 名

● 議事

審議事項

- 第 1 号議案 2021 年度事業報告書の件・・・【報告事項】
- 第 2 号議案 2021 年度決算書類承認の件・・・【決議事項】
- 第 3 号議案 2022 年度事業計画の件・・・【報告事項】
- 第 4 号議案 2022 年度収支予算の件・・・【報告事項】
- 第 5 号議案 理事選任の件・・・【決議事項】

(2) 理事会

- ① 2022 年度 第 1 回 <紙上>理事会

2022年5月30日（月）

「2021年度事業報告・決算書類の承認（書面表決）」

② 2022年度第2回 理事会

2022年6月21日（金）

第1号議案：会長（代表理事）、副会長、専務理事、常務理事の選定の件

第2号議案：顧問の選任の件

その他 ・基本施策

・協会運営WG体制

③ 2022年度第3回 理事会

2022年12月27日（火）

第1号議案：2022年度4～11月の事業執行状況の件・・・[報告事項]

第2号議案：2022年度4～11月の予算執行状況の件・・・[報告事項]

第3号議案：2023年度事業計画案（暫定）・・・[報告事項]

第4号議案：代表理事および業務執行理事の職務執行報告・・・[報告事項]

④ 2022年度第4回 理事会

2023年3月29日（水）

第1号議案：2022年度事業報告案・・・[報告事項]

第2号議案：2022年度決算見通し・・・[報告事項]

第3号議案：2023年度事業計画案・・・[決議事項]

第4号議案：2023年度予算案・・・[決議事項]

第5号議案：2023年度理事候補・・・[報告事項]

第6号議案：代表理事および業務執行理事の職務内容の報告・・・[報告事項]

(3) 常務理事会

<常務理事会概要を理事・監事・顧問へメール案内中>

① 2022年 4月20日（水）

② 2022年 5月25日（水）

③ 2022年 6月29日（水）

④ 2022年 7月19日（火）

⑤ 2022年 8月25日（木）

⑥ 2022年 9月21日（水）

⑦ 2022年10月14日（金）

⑧ 2022年11月24日（木）

⑨ 2022年12月21日（水）

⑩ 2023年 1月18日（水）

⑪ 2023年 2月22日（水）

⑫ 2023年 3月22日（水）

(4) 監査報告書

● 2022年度監査報告書：2023年6月1日付

理事会その他の重要な会議（リモート）に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取・収集、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行った。

3. 会員状況（2023年2月21日時点・・・キャンペーン適用会員を除く）

会員種別	2022.3 末	2022.4.1	2023.3 末	増減	会費未納者 (昨年同期)
法人会員	74	74	77	3	0 (同 0)
スタートアップ法人会員	0	0	1	1	0
個人会員	244	227	249	22	14 (同 11)
国別団体会員	10	10	10	—	0 (同 0)
在外会員	31	26	35	9	4 (同 4)
賛助会員 (大使館)	15	15	14	▲1	0 (同 0)
賛助会員 (学生)	11	5	9	3	3 (同 4)
図書館	1	1	1	—	0 (同 0)
計	386	358	396	38	21 (同 19)

4. 事業活動

(1) 講演会

開催実績

	2017 年度	2018 年度	2019 年度 (*)	2020 年度 (4-9月:ゼロ)	2021 年度	2022 年度
開催回数	23	18	16	12	15+共催1	24+共催・後援2
参加人数	1,231	892	711	592	985 (共催除く)	1,437 (共催・後援除く)
収 益	1,002 千円	594 千円	184 千円	30 千円	34 千円	78 千円

(*) 2019年8月より講演料の事前支払いシステムを稼働（クレジットカード、コンビニ払いなど）。

参加人数は共催を除く。

- ① 4月13日 「日本の対中南米外交40年：歴史と展望を語る」（日本ブラジル中央協会後援）
【参加者】約250名
山田 彰 前駐ブラジル・元メキシコ日本国特命全権大使（元中南米局長）
- ② 4月19日 なるほどトーク第1弾
「続・スペイン語の逆襲～東大の新生に最も人気のある第二外国語として選ばれ
魅力と優位性」【参加者】48名
瀧澤 寿美雄 メヒココンサル代表
- ③ 4月27日 帰国大使講演シリーズ1「最近のニカラグアの政治・経済事情」【参加者】40名
鈴木 康久 前駐ニカラグア大使
- ④ 5月16日 帰国大使講演シリーズ2「パナマの現状について」【参加者】65名
大脇 崇 前駐パナマ大使
- ⑤ 5月26日 なるほどトーク第2弾

「ブラジルの文化としてのカーニバル—情熱と信念、諧謔とアートのエンターテインメント」【参加者】80名

細川 多美子 サンパウロ人文科学研究所理事

- ⑥ 6月1日 帰国大使講演シリーズ3「ホンジュラスの魅力と課題」【参加者】50名
福田 紀夫 前駐ホンジュラス大使
- ⑦ 6月13日 帰国大使講演シリーズ4「エクアドルの実情と可能性」【参加者】52名
首藤 祐司 前駐エクアドル大使
- ⑧ 6月16日 なるほどトーク第3弾
「パラグアイの住宅事情と生活情報」【参加者】60名
硯田 一弘氏 アディルザス代表取締役
- ⑨ 7月1日 ラテンアメリカ・カリブ研究所講演会
「中国語文献にみる中国、台湾、ラテンアメリカ関係」【参加者】28名
岸川 毅 上智大学教授
- ⑩ 8月4日 なるほどトーク第4弾 「エルネスト・チェ・ゲバラ最後の日々」【参加者】91名
島袋正克 (有)伊島代表取締役
- ⑪ 9月7日 「安倍総理と中南米～Juntos!、日系社会との絆～」【参加者】61名
山田 彰 前駐ブラジル・元メキシコ日本国特命全権大使(元中南米局長)
- ⑫ 9月9日 なるほどトーク第5弾 「パナマ人と運河の絆」 【参加者】45名
ルベン・ロドリゲス・サムーディオ北海道大学法学研究科助教・パナマ共和国 弁護士
- ⑬ 9月29日 「JBICのラテンアメリカ業務の現状と今後—資源エネルギー分野での取り組み」
【参加者】51名
稲葉 裕 JBIC 常務執行役員/資源ファイナンス部門長
- ⑭ 11月2日 JICA 中南米3所長帰国報告会【参加者】101名
殿川 広康 セントルシア事務所長 「東カリブの現状と今後の協力の方向性」
三田村 達宏 キューバ事務所長 「変革するキューバと今後の支援の方向性」
中川 岳春 ペルー事務所長 「ペルー日系社会」
- ⑮ 11月10日 なるほどトーク第6弾「ビジネスコンサルタントから見た日本企業のメキシコ進出」
【参加者】84名
滝本昇氏 (事業サポートストラテジー代表)
- ⑯ 11月12日 ラテンアメリカ政経学会大会 部分共催 企画セッション「再びの左傾化—2020年代のラテンアメリカ政治」【参加者】(協会関係者のみ) ウェビナー38名
村上勇介/京都大学 「総論」
安井伸/慶応義塾大学 「チリ」
千代勇一/帝京大学 「コロンビア」
舛方周一郎/東京外国語大学 「ブラジル」
村上勇介 「ペルー」

- ⑰ 11月16日 ジャマイカ大使館講演会「ジャマイカの投資及び貿易の機会（物流、インフラ開発、再生可能エネルギー）」【参加者】29名
 ショーナ ケイ・M・リチャーズ 駐日ジャマイカ大使（挨拶）
 ロドニー・リード ジャマイカ名誉投資顧問（講師）
- ⑱ 11月28日 ラテンアメリカ・カリブ研究所講演会「ブラジル気候変動政策の変遷とアマゾン森林ガバナンス」【参加者】40名
 舩方周一郎/東京外国語大学講師
 石丸香苗/福井県立大学教授
- ⑲ 12月9日 「ブラジル大統領選挙とルーラ次期政権の展望と政策」（日本ブラジル中央協会共催）
 【参加者】201名（両協会からの参加者）
 林禎二 駐ブラジル日本国特命全権大使
- ⑳ 1月24日 「2023年の対中南米外交を展望する」【参加者】114名
 小林 麻紀 外務省中南米局長
- (21) 2月2日 「ラテンアメリカのフットボールとワールドカップ」【参加者】50名
 山田 彰 前駐ブラジル大使
- (22) 2月7日 「ブラジルを中心とした2023年の南米経済見通し」【参加者】63名
 木阪 明彦 ブラジル MUFG バンク 頭取
- (23) 2月15日 「JICA 中南米2所長報告会」【参加者】89名
 福井 康 パラグアイ事務所長
 高砂 大 ニカラグア前事務所長
- (24) 2月28日 「米国の対中南米政策」【参加者】49名
 渡辺亮司 米州住友商事ワシントン事務所 調査部長
- (25) 3月7日 「中南米との通商政策」【参加者】42名
 三浦聡 経済産業省 通商政策局 中南米室長
- (26) 3月28日 「ブラジル農業の可能性と食料安全保障について」【参加者】67名
 加藤茂治 豊田通商株式会社 食料生活産業本部 COO
- (2) 法人会員異業種ラテンアメリカ情報交換会：2022年4月ー2023年3月：なし
- (3) 「新春懇談会」：2023年2月13日（月）18:00-19:30@三菱クラブ
 <参加者：55名>
 在京大使館参加17/21中（内、全権特命大使13）、
 外務省 中南米局長他3名
 経済産業省 中南米室長
 総務省 国際戦略局国際経済課長
 農林水産省 輸出・国際局長
 国土交通省 海外プロジェクト審議官
 IDB/JBIC/JICA/JETRO/経団連/商工会議所

法人会員（13名）

協会役員（11名）

<次第>

会長 挨拶

GRULAC 代表（駐日コスタリカ共和国大使館 サラス・アラヤ大使）挨拶

外務省 中南米局長 挨拶・乾杯発声

在京大使館参加者紹介

(4) 「ラテンアメリカ・サロン」2023年3月15日（水）19:00-20:30@三菱クラブ

<参加者：65名>

在中南米日本国全権特命大使他 21名

外務省 中南米局長他 7名

法人会員（26名）

協会役員（11名）

<次第>

会長 挨拶・乾杯

中南米局長 挨拶

駐中南米大使紹介

(5) 2022年度 IAD 共催セミナー：

テーマ：『日米2団体共催第8回公開オンラインセミナー：“中米・カリブ地域における日本の役割と貢献を問う”』

10月19日（水）日本時間午後10時～11時15分 Private (Closed) Roundtable

参加者：31名

10月26日（水）日本時間午後10時～11時半 Public (Open) Seminar

参加者：239名

(6) ラテンアメリカ関連団体連絡会議

① 2022年 6月8日 第38回ラテンアメリカ関連団体会議

② 2022年 9月7日 第39回ラテンアメリカ関連団体会議

③ 2022年12月2日 第40回ラテンアメリカ関連団体会議（対面+ZOOM）

④ 2023年 3月6日 第41回ラテンアメリカ関連団体会議

※登録団体・機関（17団体・2機関）

京都ラテンアメリカ文化協会、日本アルゼンチン協会、グアテマラ・マヤ文化協会、日本コロンビア友好協会、日本チリ協会、日伯協会、日本ペルー協会、日本ニカラグア友好協会、日本・パナマ友好協会、日本パラグアイ協会、日本ブラジル中央協会、日本ベネズエラ協会、日本ボリビア協会、メキシコ・日本アミーゴ会、日本・ドミニカ共和国友好親善協会、ラテンアメリカ協会、外務省中南米局、米州開発銀行（IDB）アジア事務所

(7) その他（後援・協力事業）：

2021年4月～2023年3月：なし

(8) 出版事業

ラテンアメリカ時報（協会季刊誌、年4回発行）

① 4月25日2022年春号（1438）

「特集 ラテンアメリカ・カリブ地域におけるSDGsの展開」

- ② 7月25日2022年夏号(1439)
「特集 多様な CARICOM (カリブ共同体) の世界と日本」
- ③ 10月25日2022年秋号(1440)
「特集 ラテンアメリカを取り巻く国際秩序の変移」
- ④ 1月25日2022/23年冬号(1441)
「特集 新しい左派政権は変化をもたらすか？」

(9) WEB 広報事業

- ① ホームページ:
 - ・HP トップページの改編
「講演会・セミナーのご案内」、「新着情報・協会からのお知らせ」、
「関連情報・その他のお知らせ」)
 - ・HP メニューバーの改編
パンフレット廃止に伴う HP「協会案内」での表示、
資料とニュースを集約して掲載：「各種資料」「ニュース」他)、
HP「時報」の掲載箇所に「特集」各記事のサンプルを表示し Google などの検索
にヒットしやすくした。
 - ・英文 HP の改編 (メニューバー)
「About」に「AJALAC Introduction」として活動概要を掲載、
「News」に年2回の「JALAC Activities Report」を掲載
- ② フェイスブック：イベント案内等、各種情報の発信
- ③ メルマガ：新着情報を配信 (定期：毎週火曜日。 講演会に参加登録した非会員への
メルマガ配信も継続)

5. ラテンアメリカ・カリブ研究所

研究所所長 堀坂 浩太郎
 研究顧問 細野 昭雄
 上級研究員 桑山 幹夫
 上級研究員 桜井 悌司
 上級研究員 渡邊 利夫
 シニア・フェロー ホワイト 和子
 研究員 浜端 喬

(1) 事業

大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム

①第19回例会

【日時】2022年4月18日(月)17:15~18:30

【場所】ZOOM 会議室

【出席者】31名

【テーマ】「ラテンアメリカ・カリブ地域への政府開発援助 (ODA) のあり方再考 —
持続可能な開発目標 (SDGs) に照らして」

【発表者】桑山幹夫 研究所シニア研究所員 (ラテンアメリカ協会 常務理事)

②特別例会

【日時】2022年5月30日(月) 17:15-18:30
【場所】ZOOM 会議室
【出席者】31名
【テーマ】最近のベネズエラ情勢と我が国の関係
【発表者】前ベネズエラ大使 岡田憲治 氏

③第20回例会

【日時】2022年07月11日(月) 17:15-18:30
【場所】ZOOM 会議室
【出席者】25名
【テーマ】「カーボン・トレーディングの仕組み作り/ビジネス機会創出に向けてー実効性を持つ取引機能のシステム設計についてー」
【発表者】イー・アール・エム日本(株) パートナー (日本ラテンアメリカ協会 理事)
富田 宏

④第21回例会

【日時】2022年10月17日(月) 17:15-18:30
【場所】ZOOM 会議室
【出席者】25名
【テーマ】「ラテンアメリカと国連一次期国連総長はラ米から」
【発表者】赤坂 清隆 氏
公益財団法人ニッポンドットコム理事長

⑤第22回例会

【日時】2023年1月16日(月) 12:00-13:30
【場所】三菱商事会議室
【出席者】26名
【テーマ】「ブラジル・ルーラ政権の経済政策の重点と争点」
【発表者】濱口 伸明 氏
神戸大学経済経営研究所教授 (ラテンアメリカ協会理事)

(2) 研究論文 (全て一般公開)

①2022年6月2日 「中米ニカラグア外交：台湾断交から対中外交復活へ、その背景と狙い」
浜端喬

②2022年7月4日 「ロシアによるウクライナ侵攻で激変する国際社会：ラテンアメリカ・カリブ (LAC) 諸国への経済的・地政学的影響とその対応 (上)」 桑山幹夫

③2022年7月20日 <<寄稿>>南米大陸横断回廊建設による人とモノの新たな流れー外国投資促進および域内観光開発の可能性 (人間環境大学専任講師 小谷博光)

④2022年8月9日 「大学ランキング2022年版から読み取れるラテンアメリカ高等教育の特

性」桜井悌司

- ⑤2022年8月17日 <<ワシントン報告>>「最近のラテンアメリカの左傾化に関する一考」
ホワイト和子
- ⑥2022年8月23日 「ブラジル10月総選挙—正副大統領、上下両院議員、州知事、州議会議員を同日で選出する世界最大級の選挙システムが問う成否」堀坂浩太郎
- ⑦2022年9月1日 「ロシアによるウクライナ侵攻で激変する国際社会（下）：ラテンアメリカ・カリブ（LAC）諸国の立ち位置」桑山幹夫
- ⑧2023年1月10日「歴史から見るラテンアメリカのかたち—その1：新旧二つの世界が出会って」渡邊利夫
- ⑨2023年2月9日「ラテンアメリカ・カリブ諸国における『再生不可能な』天然資源（NRNR）のガバナンスと財政政策」桑山幹夫

以 上

2022（令和4）年度決算書
（案）

一般社団法人ラテンアメリカ協会

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	差異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,246,941	10,738,658	508,283
未収会費	150,000	140,000	10,000
未収金	288,020	170,960	117,060
前払費用	185,500	185,500	0
仮払金	127,718	134,138	△ 6,420
流動資産合計	11,998,179	11,369,256	628,923
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0	102,030	△ 102,030
有形固定資産合計	0	102,030	△ 102,030
(2) その他固定資産			
差入保証金	625,000	625,000	0
その他固定資産合計	625,000	625,000	0
固定資産合計	625,000	727,030	△ 102,030
資産合計	12,623,179	12,096,286	526,893
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	19,268	6,876	12,392
未払金	835,026	322,272	512,754
前受会費	2,680,000	2,975,000	△ 295,000
前受金	2,000	0	2,000
流動負債合計	3,536,294	3,304,148	232,146
負債合計	3,536,294	3,304,148	232,146
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
正味財産合計	9,086,885	8,792,138	294,747
負債及び正味財産合計	12,623,179	12,096,286	526,893

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位 : 円)

科目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①法人会費収入	8,655,000	8,700,000	△ 45,000
②個人会費収入	2,466,000	2,434,500	31,500
③事業収入	325,920	353,830	△ 27,910
④受託調査・セミナー収入	77,500	33,974	43,526
⑤広告収入	320,000	320,000	0
⑥フォーラム収入	300,000	300,000	0
⑦雑収入	1,432,008	1,272,573	159,435
受 取 利 息	125	103	22
雑 収 入	1,431,883	1,272,470	159,413
経常収益計	13,576,428	13,414,877	161,551
(2) 経常費用			
①事業費	7,274,837	6,649,588	625,249
諸 謝 金	3,898,961	3,919,649	△ 20,688
印 刷 費	1,815,000	1,815,000	0
通 信 費	363,911	355,807	8,104
旅 費 ・ 交 通 費	0	0	0
フ ォ ー ラ ム 経 費	0	0	0
雑 費	1,094,935	457,106	637,829
減 価 償 却 費	102,030	102,026	4
②管理費	6,006,844	5,648,097	358,747
諸 謝 金	2,594,886	2,528,020	66,866
理 事 費	61,175	0	61,175
借 室 光 熱 費	2,258,265	2,220,603	37,662
旅 費 ・ 交 通 費	193,560	121,250	72,310
備 品 費	13,990	0	13,990
リ ー ス 料	96,360	96,360	0
公 租 公 課	70,000	70,000	0
雑 費	718,608	611,864	106,744
経常費用計	13,281,681	12,297,685	983,996
当期経常増減額	294,747	1,117,192	△ 822,445
当期一般正味財産増減額	294,747	1,117,192	△ 822,445
一般正味財産期首残高	8,792,138	7,674,946	1,117,192
一般正味財産期末残高	9,086,885	8,792,138	294,747
II 正味財産期末残高	9,086,885	8,792,138	294,747

財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	2,220		
普通預金			
三菱UFJ銀行 渋谷支店	11,244,721		
未収会費			
法人会員 1件	140,000		
個人会員 1件	10,000		
未収金			
2023年3月分他	288,020		
前払費用			
家賃2023年4月分	185,500		
仮払金			
2023年度経費他	127,718		
流動資産合計		11,998,179	
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
差入保証金			
事務所敷金	625,000		
固定資産合計		625,000	
資産合計			12,623,179
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税 従業員等	19,268		
未払金			
法人税等 千代田都税事務所	70,000		
2022年度経費	755,910		
その他	9,116		
		835,026	
前受会費			
法人会員 32件	1,410,000		
個人会員 136件	1,270,000		
		2,680,000	
前受金			
その他	2,000		
流動負債合計		3,536,294	
負債合計			3,536,294
正味財産			9,086,885

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

① 計算書類及びその附属明細書の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

② 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法による減価償却を実施している。

③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

附属明細書

1. 固定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額
有形固定資産	什器備品	102,030	0	0	102,030	0
	合 計	102,030	0	0	102,030	0

収 支 計 算 書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	8,625,000	8,655,000	△ 30,000	
②個人会費収入	2,560,000	2,466,000	94,000	
③事業収入	350,000	325,920	24,080	
④受託調査・セミナー収入	550,000	77,500	472,500	
⑤広告収入	320,000	320,000	0	
⑥フォーラム収入	300,000	300,000	0	
⑦雑収入	500,100	1,432,008	△ 931,908	
受 取 利 息	100	125	△ 25	
雑 収 入	500,000	1,431,883	△ 931,883	
事業活動収入計	13,205,100	13,576,428	△ 371,328	
2. 事業活動支出				
① 事業費	7,510,000	7,172,807	337,193	
諸 謝 金 支 出	3,750,000	3,898,961	△ 148,961	
印 刷 費 支 出	2,200,000	1,815,000	385,000	
通 信 費 支 出	350,000	363,911	△ 13,911	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	0	500,000	
フ ォ ー ラ ム 経 費 支 出	0	0	0	
雑 費 支 出	710,000	1,094,935	△ 384,935	
② 管理費	6,470,000	6,006,844	463,156	
諸 謝 金 支 出	2,500,000	2,594,886	△ 94,886	
理 事 費 支 出	100,000	61,175	38,825	
借 室 光 熱 費 支 出	2,300,000	2,258,265	41,735	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	193,560	306,440	
備 品 費 支 出	100,000	13,990	86,010	
リ ー ス 料 支 出	100,000	96,360	3,640	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	800,000	718,608	81,392	
事業活動支出計	13,980,000	13,179,651	800,349	
事業活動収支差額	△ 774,900	396,777	△ 1,171,677	
当期収支差額	△ 774,900	396,777	△ 1,171,677	
前期繰越収支差額	8,065,108	8,065,108	0	
次期繰越収支差額	7,290,208	8,461,885	△ 1,171,677	

収支計算書に対する注記

収支予算書及び収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に準拠して作成している。

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

現金預金、未収会費、未収金、前払費用、前払金、仮払金、預り金、未払金、仮受金、前受会費、前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載する通りである。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	10,738,658	11,246,941
未収会費	140,000	150,000
未収金	170,960	288,020
前払費用	185,500	185,500
仮払金	134,138	127,718
合 計	11,369,256	11,998,179
預り金	6,876	19,268
未払金	322,272	835,026
前受会費	2,975,000	2,680,000
前受金	0	2,000
合 計	3,304,148	3,536,294
次期繰越収支差額	8,065,108	8,461,885

2023年6月9日

監査報告書

一般社団法人 ラテンアメリカ協会
会長 佐々木 幹夫 殿

一般社団法人 ラテンアメリカ協会
監事 牧内 博幸
監事 棟方 直比古

私ども監事は、2022年度の一般社団法人ラテンアメリカ協会の事業報告書、計算書類および附属明細書、理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監査の方法は、理事会その他の重要な会議（リモート）に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行いました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書および附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していることを確認いたしました。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書およびその附属明細書は、会計帳簿の記載と合致し、本法人の収支及び財産の状況を適正に表示されていることを確認いたしました。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (4) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

以上

(署名) 牧内 博幸 

(署名) 棟方 直比古 

2023（令和5）年度事業計画

1. 基本方針

現下の国際政治・経済情勢の劇的な変化や、それに伴う日本とラテンアメリカ・カリブ地域を取り巻く状況の推移を踏まえ、また、コロナ禍の終息を睨みつつ、今後とも我が国における同地域への関心の向上と関係の強化を目指して様々な事業を積極的に展開する。

当協会では、主たる活動領域を以下の3本柱に置いている。

- ① ラテンアメリカ・カリブ関連情報の集積と発信—Information
- ② ラテンアメリカ・カリブ情勢等の研究と提言—Think-Tank
- ③ 出会いと交流の場の提供—Networking

以上の活動の3本柱を推進する上で、会員からのより幅広い知識と知見を取り入れることも念頭におきつつ、2022年度半ばから5つのワーキング・グループ（WG：図参照）での検討をベースに常務理事会で協議を行い、事業の推進を図ってきた。2023年度は、この体制で活動の一層の充実を図り、理事会および会員総会の趣意を実現する方針である。また、協会活動発展に対応した財務面や体制面の強化については、長期的視野に立って検討を進める。



2. 主要な事業計画（WGに即して）

（1）渉外・ネットワーク拡大

- ① 協会活動のより一層の発展のための体制の強化と収入の増大
- ② 法人・個人会員の勧誘活動の強化
- ③ 主要省庁・政府系機関との関係強化
- ④ 駐日ラテンアメリカ・カリブ大使館との協力拡大
- ⑤ 大学・研究機関との関係強化
- ⑥ 日商、経団連（特に国別経済委員会）との関係強化

（2）Webサイト充実・改善

① ホームページの継続的な充実・改善

ホームページは当協会の「顔」。会員・非会員への「アンケート調査」（2023年1月実施）等を踏まえつつ、コンテンツ・デザイン・掲載方法等について継続的に充実・改善を図る。

② ホームページ発信体制の強化

ワーキンググループと事務局との連携を強化するとともに、ホームページのモニターを募り、逐次改善につなげる。

③ SNSによる発信の拡大

事務局の体制と発信コンテンツを勘案しつつ、Facebook、Instagram、Twitter等による発信の拡大を図る。

（3）講演会・セミナー等イベント企画

- ① 政治、経済はじめ社会、文化、スポーツなど幅広い分野をテーマとするイベント（講演会等）実施。
- ② オンラインの活用により在外居住講師による現場感ある講演の実施。
- ③ 懇談会、ラウンドテーブル、ワークショップなど肩肘張らないイベント（駐日大使、地方関連団体、日系団体、スタートアップ企業など）の実施。
- ④ 共催・後援イベントの拡大（各国別協会ほか）

（4）『ラテンアメリカ時報』編集・企画

- ① 会員の関心・ニーズに応える内容となるよう誌面構成をより一層充実。
- ② 「ラテンアメリカ・カリブの今を伝える～最新トレンドを現場感覚で～」との観点から複数の新連載を

開始。

③持続的かつ機能的な編集・発行体制の確立。編集・企画 WG の機能強化。

(5) ラテンアメリカ・カリブ研究所

①研究所レポートの執筆候補者拡大：質を維持しながらビジネス界等にも拡大

②研究所講演会：専門性の高い講演の実施、特に若手研究者

③大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム：政策遂行に役立つテーマおよびスピーカーの発掘

④若手研究員、シニア・フェローの発掘

3. その他

(1) 事務局機能の強化（事業拡大に対応するマン・パワー確保）

以上

2023年度 収 支 予 算 書

2023年4月～2024年3月

(単位：円)

科 目	2023年度 予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	8,585,000	8,655,000	△ 70,000	
②個人会費収入	2,560,000	2,466,000	94,000	
③事業収入	350,000	325,920	24,080	
④セミナー収入	100,000	77,500	22,500	
⑤受託収入	0	0	0	
⑥広告収入	320,000	320,000	0	
⑥フォーラム収入	200,000	300,000	△ 100,000	
⑦雑収入	1,300,100	1,432,008	△ 131,908	
受 取 利 息	100	125	△ 25	
雑 収 入	1,300,000	1,431,883	△ 131,883	
事業活動収入計	13,415,100	13,576,428	△ 161,328	
2. 事業活動支出				
① 事業費	7,120,000	7,172,807	△ 52,807	
諸 謝 金 支 出	3,750,000	3,898,961	△ 148,961	
印 刷 費 支 出	2,000,000	1,815,000	185,000	
通 信 費 支 出	370,000	363,911	6,089	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	0	0	0	
フ ォ ー ラ ム 経 費 支 出	0	0	0	
受 託 事 業 費 支 出	0	0	0	
雑 費 支 出	1,000,000	1,094,935	△ 94,935	
② 管理費	6,970,000	6,006,844	963,156	
諸 謝 金 支 出	3,000,000	2,594,886	405,114	
理 事 費 支 出	100,000	61,175	38,825	
借 室 光 熱 費 支 出	2,300,000	2,258,265	41,735	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	193,560	306,440	
備 品 費 支 出	100,000	13,990	86,010	
リ ー ス 料 支 出	100,000	96,360	3,640	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	800,000	718,608	81,392	
事業活動支出計	14,090,000	13,179,651	910,349	
事業活動収支差額	△ 674,900	396,777	△ 1,071,677	
III 投資活動収支の部				
差 入 保 証 金 支 出	0	0	0	
什 器 備 品 購 入 支 出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 予備費支出				
予 備 費 支 出	0		0	
当期収支差額	△ 674,900	396,777	△ 1,071,677	
前期繰越収支差額	8,461,885	8,065,108	396,777	
次期繰越収支差額	7,786,985	8,461,885	△ 674,900	

一般社団法人ラテンアメリカ協会 2023年度 理事候補（案）〈五十音順〉

(○ 新任理事、◎ 退任理事)

理事	○	稲葉 裕	(株)国際協力銀行常務執行役員、資源ファイナンス部門長
理事		岩見 元子	元(一財)海外投融資情報財団 上席特別研究員
理事		工藤 章	元三菱商事(株) 理事
理事		桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
理事		今野 秀洋	元経済産業審議官
理事		桜井 悌司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構(JETRO) 監事
理事		桜井 敏浩	徳倉建設(株) 特別顧問
理事	◎	佐々木 修	元三菱商事(株)理事
理事		佐々木 幹夫	三菱商事(株) 元会長
理事		佐藤 悟	元駐ブラジル・スペイン大使
理事	○	山東 理二	千代田化工建設特別顧問、エンジニアリング協会理事長、元三菱商事(株)執行役員
理事		眞銅 竜日郎	元駐ウルグアイ大使、元日本貿易振興機構(JETRO)理事
理事		田中 秀治	米州開発銀行(IDB) アジア事務所所長
理事		富田 宏	イー・アール・エム日本(株)パートナー、Low Carbon Economy Transition(LCET)
理事		濱口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授
理事		堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
理事		峯苔 彰悟	元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店、及び中国三菱商事(北京)金属部長
理事		村上 秀徳	公益財団法人食品等流通合理化促進機構会長、元チリ大使、元農林水産審議官
理事	◎	森田 嘉彦	元(株)国際協力銀行(JBIC) 副総裁
理事		山岸 豊生	豊田通商(株)渉外部 海外渉外室中南米地域担当部長
理事		山田 彰	外務省 参与元、駐ブラジル・メキシコ大使
理事		吉田 憲	九州大学特任教授、前国際協力機構(JICA)中南米部長
監事		牧内 博幸	前駐ドミニカ共和国大使
監事		棟方 直比古	元事務局長、元日本・東京商工会議所エグゼクティブ・コーディネーター

＜参考＞ 2022年度理事・監事名簿

(2022年6月総会・理事会以降)

会長（代表理事）	佐々木 幹夫	三菱商事（株）元会長
副会長・理事	佐藤 悟	元駐ブラジル・スペイン大使
副会長・理事	堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
専務理事	工藤 章	元三菱商事（株）理事
常務理事	桜井 悌司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
常務理事	桜井 敏浩	徳倉建設（株）特別顧問
常務理事（新）	山田 彰	外務省 参与、元駐ブラジル・メキシコ大使
常務理事（新）	吉田 憲	九州大学特任教授、前国際協力機構（JICA）中南米部長
常務理事	峯苔 彰悟	事務局長・元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店、及び中国三菱商事（北京）金属部長
理事	岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
理事	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
理事	今野 秀洋	元経済産業審議官
理事	佐々木 修	元三菱商事（株）理事
理事（新）	眞銅 竜日郎	元駐ウルグアイ大使、元日本貿易振興機構（JETRO）理事
理事（新）	田中 秀治	米州開発銀行（IDB）アジア事務所所長
理事	富田 宏	イー・アール・エム日本（株）パートナー、Low Carbon Economy Transition (LCET)
理事	村上 秀徳	公益財団法人食品等流通合理化促進機構会長、元駐チリ大使、元農林水産審議官
理事（新）	濱口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授
理事	森田 嘉彦	元（株）国際協力銀行（JBIC）副総裁
理事	山岸豊生	豊田通商（株）渉外部 海外渉外室中南米地域担当部長
監事	棟方 直比古	元事務局長、元日本・東京商工会議所エグゼクティブ・コーディネーター
監事（新）	牧内 博幸	前駐ドミニカ共和国大使

顧問

顧問	安藤 泰志	元ニカラグア大使
顧問	伊藤 昌輝	前日本ベネズエラ協会会長、元駐ベネズエラ大使
顧問	遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
顧問	河村 健夫	元衆議院議員、元内閣官房長官
顧問	田中 克之	（公財）海外日系人協会理事長、元駐スペイン大使
顧問	田中 径子	日産フィナンシャルサービス執行役員、元駐ウルグアイ大使
顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元（公財）フォーリン・プレスセンター理事長
顧問	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）緒方研究所シニア・アドバイザー、元駐エルサルバドル大使

<ブランク>